

アドマイヤーフロアブル、クミアイアドマイヤーフロアブル

1. 変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）

(1) 作物削除

- 作物名「ズッキーニ」、「非結球あぶらな科葉菜類(みずなを除く)」を削除する。

(2) 作物削除

- 作物名「とうもろこし」、「ヤングコーン」を削除する。

(3) 施設栽培に限定

- 作物名「きゅうり」を「きゅうり(施設栽培)」に、「ピーマン」を「ピーマン(施設栽培)」に、「オクラ」を「オクラ(施設栽培)」に、「未成熟ささげ」を「未成熟ささげ(施設栽培)」に、「食用ぎく」を「食用ぎく(施設栽培)」に、「きく」を「きく(施設栽培)」に、「きく(葉)」を「きく(葉)(施設栽培)」に、「ポインセチア」を「ポインセチア(施設栽培)」にそれぞれ変更する。

(4) 使用時期の制限

- 作物名「びわ」、「もも」、「なし」、「あんず」、「ぶどう」、「かんきつ」、「キウイフルーツ」、「デイゴ」の使用時期の項に但し書きとして、「(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)」を追加する。
- 作物名「つつじ類」の使用方法「散布」の使用時期を、「発生初期(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)」に変更する。
- 作物名「れんこん」、「未成熟そらまめ」の使用時期の項に但し書きとして、「(ただし、露地栽培については開花期終了後)」を追加する。
- 作物名「メロン」、「かぼちゃ」、「すいか」の使用時期の項に但し書きとして、「(ただし、露地栽培については着果後)」を追加する。

(5) 適用病害虫の削除

- 作物名「かんきつ」の適用病害虫から、「ケシキスイ類」及び「コアオハナムグリ」を削除する。

2. 申請者による変更理由

- 現在の登録内容の維持に必要な試験成績の整備に経費と時間を要するため。
- ～(5) 環境に調和した持続的な農業を目指す上で、ミツバチ・野生ハナバチ類に対する安全性を一層向上させた使用方法に変更する必要があると判断したため。

3. 適用表（今回、使用制限となる変更部分のみ）

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イタダクリットを含む農薬の総使用回数
びわ	アブラムシ類 カメムシ類	2000倍	200～700 L/10a	収穫7日前まで	2回 以内	散布	2回以内
もも	アブラムシ類 モモハモグリガ カメムシ類	5000倍	200～700 L/10a	収穫3日前まで		散布	
なし	アブラムシ類		200～700 L/10a			散布	
あんず	アブラムシ類		200～700 L/10a	収穫7日前まで		散布	
ぶどう	アザミヤカ類		200～700 L/10a	収穫21日前まで		散布	

かんきつ	カイガラシ類 アザミウマ類 ケンキスイ類 コアオハムケリ ミカンハモグリガ カメシ類 アブラムシ類 ゴマダラカミキリ成虫	2000～ 5000倍	200～700 L/10a	収穫14日前まで	3回 以内	散布	3回以内
	ミカンバエ	2000～ 4000倍					
	ミカンキジラミ	2000倍					
	アブラムシ類 アザミウマ類 カメシ類 ケンキスイ類 コアオハムケリ ゴマダラカミキリ成虫 ミカンハモグリガ ミカンバエ ミカンキジラミ	80倍	8～20 L/10a			無人航空機による 散布	
	40倍	4～10 L/10a					
		20倍	4～5 L/10a				
キウイ フルーツ	カメシ類	2000倍	200～700 L/10a	収穫前日まで	2回 以内	散布	2回以内
とうもろこし	アブラムシ類	64倍	1.6～3.2 L/10a	収穫14日前まで	2回 以内	無人航空機による 散布	3回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内)
		4000倍	100～300 L/10a			散布	
ヤングコーン	アブラムシ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで	2回 以内	散布	2回以内
非結球あぶらな科葉菜類(みずなを除く)	アブラムシ類 コナジラミ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫14日前まで	2回 以内	散布	2回以内(は種時の土壌混和は1回以内)
れんこん	アブラムシ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫14日前まで	2回 以内	散布	3回以内(植付時の土壌混和は1回以内、植付後の処理は2回以内)
きゅうり	アブラムシ類 アザミウマ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	4回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計3回以内)
メロン	アブラムシ類 アザミウマ類			収穫3日前まで			4回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)
かぼちゃ	アブラムシ類			収穫前日まで	2回 以内		3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
ズッキーニ				収穫前日まで	3回 以内		4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)
すいか				収穫3日前まで	3回 以内		

ピーマン				収穫前日まで	2回以内		3回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
オクラ	アブラムシ類 アザミウマ類				3回以内		3回以内
未成熟そらまめ	アブラムシ類	4000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内(定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内)
未成熟ささげ	アブラムシ類	4000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内(定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
きく(葉)	アブラムシ類	4000倍	100~300 L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
食用ぎく	アブラムシ類 アザミウマ類	4000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
きく		2000倍	100~200 L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内
ポインセチア	アブラムシ類 コナジラミ類					散布	
つつじ類	ツツジガンバイ	2000倍	100~200 L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内(株元灌注は2回以内、土壌混和は2回以内)
		5000倍	1L / m ²	発生前	2回以内	株元灌注	
デイゴ	デイゴヒメハチ	2000倍	200~700 L/10a	発生初期	2回以内	散布	2回以内

【変更後】

作物名	適用害虫虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イタダクアクトを含む農薬の総使用回数
びわ	アブラムシ類 カメムシ類	2000倍	200~700 L/10a	収穫7日前まで (ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	2回以内	散布	2回以内
もも	アブラムシ類 モモハモグリカ カメムシ類	5000倍	200~700 L/10a	収穫3日前まで (ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)		散布	
なし	アブラムシ類		200~700 L/10a	収穫7日前まで (ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)		散布	
あんず	アブラムシ類	200~700 L/10a	収穫7日前まで (ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	散布			
ぶどう	アザミウマ類	200~700 L/10a	収穫21日前まで (ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	散布			

かんきつ	カイラムシ類 アザミウマ類 ミカンホガリガ カメシ類 アブラムシ類 ゴマダラカミキリ成虫	2000～ 5000倍	200～700 L/10a	収穫14日前まで (ただし、露地栽培については 発芽期から開花期を除く)	3回 以内	散布	3回以内
	ミカンバエ	2000～ 4000倍					
	ミカンキジラミ	2000倍					
	アブラムシ類 アザミウマ類 カメシ類 ゴマダラカミキリ成虫	80倍	8～20 L/10a				
	ミカンホガリガ ミカンバエ ミカンキジラミ	40倍	4～10 L/10a			無人航空機による 散布	
		20倍	4～5 L/10a				
キウイ フルーツ	カメシ類	2000倍	200～700 L/10a	収穫前日まで (ただし、露地栽培については 発芽期から開花期を除く)	2回 以内	散布	2回以内
れんこん	アブラムシ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫14日前まで (ただし、露地栽培については 開花期終了後)	2回 以内	散布	3回以内(植付時の 土壌混和は1回以内、植付後の処理 は2回以内)
きゅうり (施設栽培)	アブラムシ類 アザミウマ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	4回以内(育苗期の 株元散布及び定植時の土壌混和は合 計1回以内、散布及び常温煙霧は合 計3回以内)
メロン	アブラムシ類 アザミウマ類			収穫3日前まで (ただし、露地栽培については 着果後)			4回以内(育苗期の 株元散布及び定植時の土壌混和は合 計1回以内、散布は3回以内)
かぼちゃ	アブラムシ類			収穫前日まで (ただし、露地栽培については 着果後)			2回 以内
すいか				収穫3日前まで (ただし、露地栽培については 着果後)	3回 以内		4回以内(定植時の 土壌混和は1回以内、散布は3回以 内)
ピーマン (施設栽培)	アブラムシ類 アザミウマ類			収穫前日まで	2回 以内		3回以内(育苗期の 株元散布及び定植時の土壌混和は合 計1回以内、散布は2回以内)
オクラ (施設栽培)				3回 以内	3回以内		
未成熟そら まめ	アブラムシ類			4000倍	100～300 L/10a		収穫7日前まで (ただし、露地栽培については 開花期終了後)
未成熟ささ げ	アブラムシ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回 以内	散布	3回以内(定植時及 びは種時の土壌混

(施設栽培)							和は合計1回以内、散布は2回以内)
きく(葉) (施設栽培)	アブラムシ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫14日前まで	3回 以内	散布	3回以内
食用ぎく (施設栽培)	アブラムシ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫7日前まで	2回 以内	散布	2回以内
きく (施設栽培)	アザミウマ類	2000倍	100～200 L/10a	発生初期	5回 以内	散布	5回以内
ポインセチア (施設栽培)	アブラムシ類 コジラミ類					散布	
つつじ類	ツツジケンハイ	2000倍	100～200 L/10a	発生初期 (ただし、露地栽培については 発芽期から開花期を除く)	5回 以内	散布	5回以内(株元灌注は2回以内、土壌混和は2回以内)
		5000倍	1L / m ²	発生前	2回 以内	株元灌注	
ダイゴ	テイゴヒメバチ	2000倍	200～700 L/10a	発生初期(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	2回 以内	散布	2回以内